

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成23年5月19日(2011.5.19)

【公表番号】特表2010-529435(P2010-529435A)

【公表日】平成22年8月26日(2010.8.26)

【年通号数】公開・登録公報2010-034

【出願番号】特願2010-510550(P2010-510550)

【国際特許分類】

G 01 N 27/62 (2006.01)

H 01 J 49/10 (2006.01)

H 01 J 49/04 (2006.01)

【F I】

G 01 N 27/62 F

H 01 J 49/10

H 01 J 49/04

G 01 N 27/62 G

【手続補正書】

【提出日】平成23年3月30日(2011.3.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

エレクトロスプレー・イオン化の間に、安息香酸、トリメチル酢酸、又はシクロヘキサンカルボン酸のうちの一つの電解質を試料液に加える工程を有する、エレクトロスプレーMS分析イオン信号振幅を増大させるための方法。

【請求項2】

エレクトロスプレー・イオン化の間に、安息香酸、トリメチル酢酸、又はシクロヘキサンカルボン酸のうちの一つの電解質を、エレクトロスプレー膜プローブの第2の溶液に加える工程を有する、エレクトロスプレーMS分析イオン信号振幅を増大させるための方法。

【請求項3】

安息香酸、トリメチル酢酸、又はシクロヘキサンカルボン酸のうちの少なくとも一つの電解質種を試薬イオン源溶液に加える工程を有する、エレクトロスプレー及びAPCI源の組合せによって生成されたMS分析イオン信号を増大させるための方法。

【請求項4】

安息香酸、トリメチル酢酸、又はシクロヘキサンカルボン酸のうちの少なくとも一つの電解質種を試料液に加える工程を有する、APCI源によって生成されたMS分析イオン信号を増大させるための方法。